

令和6年度 第1回さいたま市文化財保存活用地域計画策定協議会（書面会議）のご意見と回答等

書面会議にて実施しました、令和6年度 第1回さいたま市文化財保護審議会において、名の委員皆様から意見シートのご提出いただき、委員の皆様から多くのご意見を賜りました。以下に、議題ごとにご意見と、それに対する回答等をまとめました。

1 協議事項について

(1) さいたま市文化財保存活用地域計画（素案）について、御意見等をご記入ください。

委員名	ご意見	回答等
青木委員	<p>① 19頁 鴨川 芝川 綾瀬川 など小河川とあるが、中小河川では。検討を。</p> <p>② 23頁 埼玉県ができるまでの経緯少しでも略すると意見が出よう。武蔵知県事の管轄 大宮県 浦和県 埼玉県 岩槻藩（知藩事） 岩槻県（大参事） 埼玉県 この流れをスムーズに記すべき。</p> <p>③ 35頁 大半は市外に働きに出て老少、家庭にいる人、市内で働く人、農業従事者、パートタイマーなど比率より実数で見るとすべきである。村解体の危機に瀕している地域とは、また別な問題。一時的居住などを含め、関心度の把握は単純ではない。但し、担い手にならないという決めつけはどうか。</p> <p>④ 42頁 山林の土地利用 山林というが、平地林は農業に利用しやすい。全国的な山地から見て、いわゆる山地はない。地域のほとんどが山地という自治体は決して少なくない。山地 という言葉は、受け取る人によって違う。というよりは、さいたま市においては、山地という言葉はなじまない。やはり、平地林、斜面林である。</p>	<p>① 訂正します。</p> <p>② 記述を再度検討します。</p> <p>③ この表を掲載し考察から文化財保存活用地域計画とどう関連付けられるか、あるいは掲載しないか検討します。</p> <p>④ 土地利用の観点から、地目上の分類として「山林」が際立ったことも当市の特徴です。さらにその特徴である「平地林」「斜面林」の表現を追加するか検討します。</p>

	<p>⑤ 50頁 市内で一番古い古墳 白鍬塚山古墳は、今は合っているが、桜区塚本の塚山古墳は、前方後方墳の可能性は非常に高い。まだ確かめていない。明らかになればそれがさいたま市最古の古墳になる。</p> <p>⑥ 52頁 鎌倉街道と呼ばれている場所場所は、道筋 道路では。南区にもそう呼ばれている道筋がある。</p> <p>⑦ 54頁 高埜と書いた文書記録 はない。鎌倉時代初期に吾妻鏡に高鼻氏が見えるが、室町時代は、もっぱら高埜氏と高埜郷を使う。埜の略字であろうが、本字戻しではすまない。新記にはやたらに高鼻庄が出てくるが、実文書ではない。高鼻村は存在。高埜郷最新の文書は、調宮縁起で寛文期。結論 高埜郷 でいく。</p> <p>⑧ 58頁 見沼新田は、約9000石でしょう。1万石として、年貢が5000石とみればよいかも。一人歩きの危険。1228町歩なので、12280反 1反歩で3俵として1石余 1万石を超えるが、もっと悪い田もあり、未開発地もあり、畑もあったので、単純計算をして8がけでも9千石が正解かも。</p> <p>⑨ 65頁 学童疎開 大宮市や岩槻市も ないし、旧大宮市は広すぎる。集団は、西区や見沼区、岩槻区なら具体例が、大砂土小学校も。個人では浦和区にも。はり集団疎開が中心かも</p> <p>⑩ 越ヶ谷飛行場 陸軍越ヶ谷飛行場が正しいのでは。不時着一機で終戦。所在地は、岩槻区末田。新和は明治22年の村名。今は地域名</p>	<p>⑤ 現時点では調査していないため、このままの表現とします。</p> <p>⑥ 道筋に訂正します。西区、見沼区、南区の事例を追加します。</p> <p>⑦ 裏付けの資料を確認の上、訂正について検討します。</p> <p>⑧ 9,000石とします。</p> <p>⑨ 市内の一部の寺院では・・・と文言修正します。</p> <p>⑩ 様々な通名が使われたようですが、越谷市教育委員会と協議の上、越ヶ谷飛行場とさせていた</p>
--	---	---

	<p>⑪ 67 頁 正式なワールドカップ大会名があるはず。</p> <p>⑫75 頁 蓮見家住宅旧所在地は、東浦和だが、旧井沼方。見沼に突き出たところではない。台地の裾部でいいです。</p> <p>⑬78 頁 玉蔵院の地藏菩薩。伝わりませ、ではなく、みられます、または、されています。東福寺の如来形坐像 意味がくみ取りにくい。市域の仏像彫刻では最古の作です。</p> <p>⑭79 頁 守光院の銅造阿弥陀如来立像 鎌倉時代の善光寺阿弥陀三尊の中尊です。</p> <p>⑮80 頁 兵庫鎖と針金 針金で編んだ鎖を吊り紐に用いる太刀は、兵庫鎖太刀と呼ばれ、珍重された。</p> <p>氷川女體神社の神輿は、文化財目録では県も市も 桃山時代末期となっている。実際には、南北朝時代頃と思うが、いまは指定時調査の基本で。その後誰も研究していない。戦時供出のところ、半鐘は供出しない。非常災害通知用具に付き梵鐘は供出残ったのは、医王寺と林光寺、岩槻時の鐘のみ。</p>	<p>だきます。所在地は岩槻区末田に修正します。</p> <p>⑪ 日韓問題の紆余曲折があり、何度か呼称の変更があり、現在は「2002 FIFA ワールドカップ」と呼ぶのが正しいようです。訂正いたします。</p> <p>⑫ 修正します</p> <p>⑬ 修正します</p> <p>⑭ 修正します。</p> <p>⑮ 修正します。</p>
金子委員	<p>① 41 ページの(5) 観光のところ、外国人の来訪の本格的な回復にはまだ時間がかかるという表記がありますが、さいたま観光国際協会等と連携しながら積極的に招致していきませとか、もう少し前向きな表現でも良いかなと思います。</p>	<p>① 前向きな表現に修正します。</p>

	<p>② 123ページの「方針2 いかす」のところで、参考ですが、当協会の主催で毎年4月(今年は4月14日)に桜草公園で「さくら草まつり」を開催しており、開催会場や協会HPでまつりの開催の告知とともに国指定特別天然記念物であることを積極的にPRしています。</p>	<p>② 124P課題2方針2措置212サクラソウWeeksと合わせて追記させていただきます。</p>
<p>木本委員</p>	<p>① P32『大宮駅は・・・ターミナル駅』</p> <p>『(一社)日本民営鉄道協会』による定義では、『「ターミナル駅」とは一般に終着駅(終端駅)のことをいい、ターミナル駅といえば頭端式(クシ形の行き止まり式)の外国の駅が思い浮かびますが、わが国では、地下鉄を含め多くの鉄道路線が交錯し、バス、タクシーも発着する大規模な乗換駅を指すことが多く、「点」や「線」よりも陸上交通の集中する「面」的な機能を持った駅としてイメージされているようです。都心や副都心にある鉄道のターミナルは、従来のデパート、スーパー、ホテルや文化施設に加え、行政、ビジネス街区と一体になり、人、物の移動と情報の発信基地として大都市機能の中核を担っています。』とあり、全くこのままで良いと思う。鉄道(大宮駅)の発展はさいたま市には重要な要素であり、『乗入路線数は合計16路線で全国第2位、一日平均乗降者数は約70万人(新幹線停車駅では全国第3位)と、東京以北最大の巨大ターミナル駅であると同時に「東日本の玄関口」として位置付けられた、首都圏北部の中心駅である(出展:ウィキペディア)』的なことを加筆しても良いと思います。</p>	<p>① 情報提供ありがとうございます。「ターミナル駅」の言葉自体が日本語化しており、本来の語源とは異なる方向で進化した用語と捉え、ターミナル駅はそのまま生かしたいと考えます。</p>

	<p>② また、『浦和』と名前がつく駅が、市内に8駅（全国1位だと思います、東西南北+浦和・中・武蔵・美園）もあることから、鉄道との関係性が高い市であると言える・・・といったことを追記すると良いと思います。</p> <p>③ P36 さいたま市の農業 2行目の特徴→『里芋やさつまいもは県内でも有数の生産量を誇って・・・』とあるが、『令和5年度版さいたま市の農業』（さいたま市発行）によると、P4で、里芋の表記はあるが、『さつまいも』の表記はなく、整合性がないと感じた。</p> <p>④ また、P36の写真も【ヨーロッパ野菜】と【さつまいも】となっており、上記の理由から相応しくなく、むしろ、特産として8行目に記述がある【くわい】の写真に入れ替えるべきではないかと思います。</p> <p>⑤ 10～11行目、ヨーロッパの生産・普及について、下記（赤字）のような追記があった方が良いと思います。 （出展「さいたま市ヨーロッパ野菜研究会」のHP） 『若手農業者による新たな取組として、約20軒の農家が年間約70種類のヨーロッパ野菜、レストラン用野菜を出荷し、学校給食での提供や料理コンテストの実施など、ヨーロッパ野菜の生産・普及活動が注目されています。』</p> <p>⑥ P41 観光 5～6行目 多様な歴史的・文化的な観光資源となり得る地域資源があります。</p>	<p>② 追記について検討します。</p> <p>③ さつまいもが県内有数の生産量を誇っているとの表現については削除します。紅赤については本市の歴史においても意義深く、ブランド化の表現は残します。</p> <p>④ 「くわい」の写真を加えます。</p> <p>⑤ ヨーロッパ野菜は、現在のさいたまの農業を語るうえで重要な要素となっております。御指摘のとおり、追記します。</p> <p>⑥ 文言修正します。</p>
--	--	---

	<p>⑦ 8～13 行目『観光入込客数とは、……イベントが対象となります。』は、本文ではなく、注記又は説明用の手持ち資料的な要素だと思います。</p> <p>⑧ 15 行目～『ただし、本市はコロナ禍以前から、東京へのアクセスの利便性、宿泊施設の充実といった側面から外国人観光客の宿泊地として好まれる傾向にありましたが、』 →外国人宿泊者比率が最大で 4.64% (2019 年) で、好まれる傾向とは言えないと思います。(むしろ課題なのでは……。だから外国人観光客が好むような歴史的・文化的な地域資源を観光資源として活用・整備していく必要があるのだと思います。そして、魅力的な観光資源として認知されれば、東京からの日帰り (通過型) ではなく、さいたま市内で宿泊もし、観光消費額も向上していくと思います。</p> <p>⑨ また、イベントに関しては、MICE としての埼玉スーパーアリーナや埼玉スタジアムなどの活用 (コンベンション都市・さいたまの特性を生かし、より多くのコンベンション誘致) といった要素も追記した方が良いと思います。</p>	<p>⑦ 注記として表記します。</p> <p>⑧ 観光庁のHPでは、令和6年6月現在で、令和4年度の外国人宿泊者比率の数値しかわかりませんが、令和5年度の全国平均は、推測ですが5～6パーセントと考えられます。コロナ禍以前は浦和駅周辺のホテルに多くのアジア系外国人が宿泊し、東京へ観光に向かう傾向は強かったと認識しています。ただし、ご指摘のとおり、当市の観光は日帰り型が多いことは否めず、外国人宿泊者率も全国平均はやや下回ると考えます。「一部の外国人からは東京観光への日帰りのための宿泊地として好まれる傾向にあり……」と文言を訂正します。</p> <p>⑨ MICEに関する表現を追記し、MICEについて注釈を加えます。</p>
--	--	--

	<p>()は、さいたまコンベンションビ ューローのHPより引用</p> <p>⑩ P176 さいたま市の推進体制 10～11行目、本計画は、保存・活用計画 なので、赤字を追記 『地域総ぐるみで歴史文化遺産を保存・ 活用・継承していく体制をつくり、取組 を進めていきます。』</p>	<p>⑩ 文言追記で検討します。</p>
<p>花井委員</p>	<p>① 大宮駅ターミナル⇒確かに意味は終 着駅だが、日本民営駅道協会HPに終 着駅と共に「都市活動の多面性、多様 性を多く見せるもの」とあり、東京駅、 新宿駅 e t c . を紹介</p> <p>② 36 P (5) 農業⇒単に生産だけでな く、民俗、芸能、宗教との関連するこ とを重要と思われる。</p> <p>③ 44 P (8) 歴史文化施設⇒民間の施 設は対象にならないのか。</p> <p>④ 近世の祇園祭⇒天王祭として市内に 多く見られるが・・・</p> <p>⑤ 178 P～ 文化財に関わる市民組織に学校は加 えられないだろうか(自分たちの地域 の歴史を知る活動)</p>	<p>① 情報提供ありがとうございます。 「ターミナル 駅」の言葉自体が日本語 化しており、本来の語源 とは異なる方向で進化 した用語と捉え、ターミ ナル駅はそのまま生か します。</p> <p>② 第1章は、本市の概要を 述べる項目であり、民 俗、芸能、宗教的要素を 加えると、内容が複雑化 する懸念があります。よ りシンプルな解説にし ております。</p> <p>③ 民間施設でも歴史文化 施設となり得ます。 具体的にどの施設がと いうのがあれば教えて ください。</p> <p>④ 祇園祭、天王祭の説明を し、代表として「砂の万 灯」の説明を加えます。</p> <p>⑤ 学校を追記します。</p>

	<p>⑥ 見沼田んぼのエリアだけでなく、荒川側はどうなのだろうか。</p> <p>⑦ 文化財保護審議会でも意見されているが、市民に広く周知する方法がHP以外にないのだろうか。</p>	<p>⑥ 荒川周辺はエリアとしても魅力的ですが、関連文化財群として「荒川」を関連付け作成しています。次期計画の見直しの際にエリア設定の変更の可能性はあります。</p> <p>⑦ ワークショップの開催やSNS等での発信を検討します。</p>
東角井委員	<p>① 関連文化財の設定で、「(3)川の恵みと闘い」と題しているが、「闘い」という文言は自然を征服する、制圧するという西洋的な観念であり、自然を寛容に受け入れて共存、共生していくという日本的な価値観が伝わるような表現の方が良い。また「闘い」というマイナス表現で文化財を活用していくイメージが湧かない恐れがある(保存のイメージは湧くが)。「川の恵みと治水」「川の恵みと共生(共存)」のような題が相応しい。</p>	<p>① 御指摘の意図はととてもよくわかります。ただし、苦難を乗り越え、災害を克服しようとした人々の努力という意味で、「闘い」という表現を残したいと思います。</p>
渡辺委員	<p>(1) 全体の体裁なのですが、図表に通番号がなく、またロゴもバラバラです。他市の文化財保存活用地域計画の報告書では下記のようになっています。</p> <p>①各章ごとに「図 1-1」「表 2-2」などのように図・表(写真は図とすることが多い)に通し番号を打ち、タイトルはゴシック系の文字(長いキャプションは明朝系もあり)とする</p> <p>② 図内の文字はゴシック系が見やすい。表内は明朝系もありだが、見やすい字体とすること。</p> <p>③ 図番号とタイトルは図の下に、表では表の上に記載する。論文ではこれが常識です。</p> <p>(2)内容につきましては随分手を入れられており、努力されたと思います。</p>	<p>(1)</p> <p>① 表及び図の通し番号を追記し修正を進めます。</p> <p>② ゴシック体を主に変更します。</p> <p>③ 修正します</p> <p>(2)</p>

	<p>いくつかコメントがありますので、本論の pdf に記入したものを別途添付します。</p> <p>① 4 頁目次の第 2 節と第 4 節で措置がずいぶん重なっていますが整理できていますか。</p> <p>② 5 頁資料編完成したら見せてください。</p> <p>③ 130 頁設定地域 設定区域が見沼田んぼ周辺区域（大宮公園、氷川神社）と重なります。どこかで説明していますか。</p> <p>④ 133 頁の氷川参道の位置が間違っていないですか。</p> <p>⑤ 136 頁 前庭に関して六斎市の関係が分かりにくいので言葉を足してください。</p> <p>⑥ 140 頁 調神社旧本殿に（現稲荷神社）を追加 （3）現状では資料編がまったくありません。実は利用価値がとても高いのが資料編ですので、作成できたら、別途お送りください。</p>	<p>① 現在対応中です。</p> <p>② 承知しました。</p> <p>③ 説明を加えます。</p> <p>④ 訂正します。</p> <p>⑤ 前庭について説明を加えます。</p> <p>⑥ 追記します。 （3）承知しました。</p>
--	---	---

（2）その他 お築きの点、御意見等ございましたらご記入ください。

委員名	ご意見	回答等
木本委員	<p>① パブコメの内容や概要がわかりました、教えて頂きたい。</p> <p>② 冊子化しないとのことでしたが、委員には配布を頂きたい。</p> <p>③ ホームページだけでの周知では、市民への周知が弱いような気がする。</p>	<p>① パブコメの内容及び概要は各委員の方々に情報共有します。</p> <p>② 今年度から、印刷製本費が国庫補助費の対象から外されました。認定後、本編だけでも冊子化できるよう検討します。</p> <p>③ 認定に際して SNS のほか、イベント・ワークショップを開催することで周知を図ります。</p>

	<p>④ 学校教育（小中学校等を想定）の中で、授業の一環として、取り入れたらどうでしょうか。</p> <p>⑤ 何らかの周知イベント（市民向けの参加型）の開催を検討してほしい。</p>	<p>④ 学校教育とも連携していきます。</p> <p>⑤ 認定に伴うシンポジウム開催を検討しましたが予算化出来ませんでした。代わりにイベントやワークショップや情報発信などを通じた周知に努めてまいります。</p>
渡辺委員	<p>① 一番気になるのが資料編まで含めた報告書の完成時期です。半年遅らせて認定を取るというお話ですが、この計画で今後も大丈夫でしょうか？</p>	<p>① 遅れの無いよう進めていきます。資料編は現在も追加修正が続くため、暫定版の送付を検討しています。</p>